

ご寄付・奇贈をいただいた方

(敬称省略・順不同)

九番町歯科クリニック 栗原 憲 小林由幸 阿部勝子 小島良子 落合真理子
加藤孝治 辺見美津男設計室 齋藤雄一 小泉 則子 深谷 豊子 生田房弘

新しく会員になられた方



正会員

佐藤喜彦 紺野卓英 岡部重義 水野結希 小針千寿子 舟木 仁
佐藤和子 清水義晴 甲賀育子

団体 (有)薄井工務店

こころネット通信 第8号

発行者：NPO 法人こころネットワーク県南 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村泉崎字下根岸 9

生活支援センター「こころん」 : 0248-54-1115 FAX:0248-53-3063

Email: kokoron@r2.dion.ne.jp

法人名が変わります

去る5月14日「NPO法人こころネットワーク県南」第4回定期総会において、法人名を「NPO法人こころん」と改めることになりました。

法人名については、こころんの名前が定着し、ほとんどの方が「こころん」で通じてしまい「こころネットワーク県南」はどこに行ってしまったのか、いっそ法人名も「こころん」にしたほうが解りやすいのではないだろうか、と法人名もついに「NPO法人こころん」となりました。 今後は県の認証を受け登記をして使用していきます。

17年度の基本方針について

「生活支援センターこころん」が2年目となり、地域に根ざした活動の拠点として各関係機関からも大きく期待を寄せられているところですが、そのニーズの複雑さや多様化に対応しきれない状況にあります。そこで今年度はまず生活の場としてグループホームの設置や、居宅介護を事業化して在宅支援の強化、就労のニーズに対しては、一般就労の継続支援や新規の職場開拓、わくわくセンターの仕事づくりなどを基盤に整え、将来の会社づくりにつなげていきたいと思っています。

活動報告

- 4月 6日～就労体験 しいたけ植菌
- 4月16日 泉崎桜ウォーク 理事会
- 4月21日 桜スケッチ(長沼永泉寺)
- 4月26日 県バレーボール大会
こころんファイターズ
- 4月27日 明日飛学園見学・石焼ピザ
- 4月28日 医療相談
- 5月14日 第4回定期総会
講演会(大石邦子氏)
- 5月17日 西郷瀨散策・雪割牧場見学
- 5月19日 シナプスの会
- 5月24日 ポラリス保看学院実習受入
- 6月 1日 福医大看護学部実習生受入
- 6月 4日 24時間ワークショップ
～5日(清水義晴氏を交え)
- 6月13日～東京福祉専門学校実習受入
- 6月16日 県南保健所・こみね会と交流
- 6月22日～就労体験 ノーベル(27日)
- 6月23日 医療相談
- 6月24日 国際医療大実習担当者会議
- 6月25日 理事会
- 6月28日 福医大看護学部実習生受入
大信村花見山・聖ヶ岩見学
- 7月 2日 県水彩画展見学(郡山市)
- 7月 5日 職場見学(林養魚場)
- 7月 7日 当事者勉強会
- 7月10日 パネルの会参加
- 7月30日 こころん音楽の夕べ
(友木厚志コンサート)

❖今後の予定❖

- 8月5～6日 新潟の海でキャンプ
 - 8月 7日 白河関(294)まつり
 - 9月11日 第2回こころんまつり
- 利用者勉強会・交流会**
- 8月23日
一人ひとりが社会資源になる
(広田和子氏を迎えて)
 - 9月14日
体験を話そう ワークショップ
 - 12月20日
クリスマス交流会
 - 3月3日
他施設見学(水戸方面)

家族教室

月	日	テーマ	講師
8	24	当事者の立場から	広田和子氏
9	28	統合失調症の治療	渡部芳徳氏
10	12	家族の接し方について	成井香苗氏
11	16	社会資源 地域家族会	

編集後記

毎日暑い日が続いていて利用者の方ばかりでなく、皆様方も健康管理が大変なことと思います。

“忙中閑あり”先日、土湯温泉の奥にある「幕滝」を訪れてきました。滝の音が本当はウルサイ筈なのに、不思議と周囲の音が消え、時間が止まったような静寂の中、瀑布のしぶきを浴びながら心の安らぎを感じてきました。

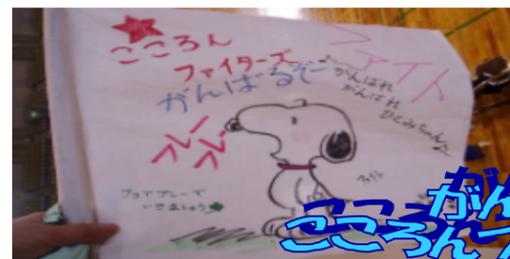
最近、ある本に書いてあった語源に目が止まりました。クリニックは外来の方の診療所で、語源は「臨床用寝台」を意味するギリシヤ語だそうです。ホスピタルは病院のことですが、語源は「主人が客をもてなす場所」を意味するラテン語だそうです。語源から病院をすぐに連想できないのは、私だけで且つ想像力の欠如からなのでしょうが?

今月の利用者の言葉
「暑くても、納豆食って元気にナット！」

(三村)



5月17日西郷村へハイキングとバーベキューに行ってきました。おいしい空気いっぱい吸って遊歩道をハイキング、その後雪割牧場でバーベキューに舌鼓、爽やかなお天気に恵まれ楽しい一日でした。



こころんのバレーボールチーム「こころんファイターズ」は結成して1年3、今年の県大会で1勝しました。

寄稿

「見えないもの」

村上勝美 (彫刻家・泉崎村在住)

いつも思うのです。彫刻はすでに創り尽くされているのではないかと。新しい価値に基づいた創造の余地はあるのかと。先人達の仕事の大きさ、深さ、数の多さに触れると圧倒されてしまいます。

人間の目にはみえないけれど存在するものは無限にある。でも現実の生活の中では、見えるものに頼りながら生きています。いや、見えるものを絶対化して生きているのかもしれませんが。物理学ではアインシュタインが相対性理論を創造しました。彫刻家の中では、シュールレアリズムの人々、特にジャコメッティは人間存在を相対化した最初の人ではないでしょうか。存在から始まるのではなく、空間の中にバックされた存在、空間を無限大に広げると存在は無限小に近づく。その中に存在することの不確かさや、人間存在の不安といったものを感じるのです。彼の仕事は、近代と現代を結ぶ一本の橋のように思えます。

勿論多くの橋の中の一つでしょうが・・・。

どんな物質も原子から成り立っています。私は、そこに隙間が在るように感じます。

そんな隙間を流れる風を想像するとワクワクします。空間の中の存在、その存在を

通過する風は、存在するものが内包する時の流れなのでしょうか。無と有との関わりに興味をひかれます。

「老子」の中にこんな言葉がありました。「有の以って利を為すは、無の以って用を為せばなり。」

三十本の輻が一つの轂(車輪の中心の丸い木)に集まって(車輪ができて)いる。その轂の中心のなにもないところで、車輪としてののはたらきがある。粘土をこねて器物をつくる。その器物のなにもないところで、器物としてののはたらきがある。戸口や窓をあけてそうして家を創る。その家の中心のなにもないところで、家としてののはたらきがある。だから、なにかがあることによって利益がもたらされるのは、なにもないことが(その根本で)はたらきをとげているからだ。

さてさて、林立する彫刻の隙間を歩いて広場に出ましょう。



「こころは大切なパートナー」

僕は、病気になったお陰で「こころん」という素晴らしい施設に出会えた。

今までにの人生は、生きていて幸せだと思う瞬間があまりなかった。

「こころん」に来るようになり、人生が180度回転した。

今は、落ち込むことがあっても幸せを感じる。まさに地獄から天国に上がっていく感じだった

人間は、心に荷物をしょって生きているが、その荷物が無くなった時、

人間は幸せになっていくことがわかってきた。

「こころ」こそ、人間にとって一番重要な事であると病気を通じてわかった。

「こころ」こそ、人間にとって一番大切なパートナーであると思う。



(S・K)

寄贈

便利さが一つ増えました



こころんに白河市在住の前田広子さんより、乗用車が寄贈されました。今まで施設に車がなかったので大変助かっています。

ありがとうございました。

安らぎが一つ増えました

新潟大学名誉教授 生田房弘氏よりCD / MDラジカセが寄贈されました。皆音楽で安らかな時間を過ごしています。



支援センターこころん利用状況

(平成17年6月30日現在)

利用登録者 65名 (♥男性42名 ♡女性23名)

センター利用者

4月	5月	6月	計
254人	415人	443人	1,112人

見学等来訪者

4月	5月	6月	計
83人	58人	48人	189人

相談件数

区分	電話	面接	訪問	同行・その他	計
4月	61	47	8	5	121
5月	57	58	7	4	126
6月	79	63	5	6	153

第6回パネルの会参加

「H」さんに感動したこと

51年の病気との闘いは、私たちに発病しては、その都度色々な体験をし、生きてこられたのだなぁと思いました。

68年間、すごい人生を送ってこられれば、自分の人生はまだ甘



於: 会津若松市文化センター

想像もつかないものでした。壁にぶつかりながら自分の訓練と考

れたのだなぁと思い感動しました。いと思いました。(松本信夫)

7月10日、会津若松市文化センターで第6回パネルの会が開催され、こころんから利用者10名・国際医療大学実習生4名・スタッフ2名の総勢16名で参加しました。開会前の会場入り口で自主製品(味噌・漬物)の販売活動を行いました。皆のチームワークもバッチリで売れ行きも大変好調でした。

午前中は講演で、午後からは「結婚生活を維持する」をテーマにパネルディスカッションが行われました。男であること、女であること、人間であること、自分らしく生きること、人生を共有していくということなど、人として大切な共通の話に、参加者一人一人が熱心に耳を傾け、様々な思いの中で夢膨らむ充実した時を過ごされているように感じました。こころんの参加者も「素晴らしい話だった」と帰路一様に感想を述べていました。

施設実習受入状況

東京福祉大学 1名

ポラリス保健福祉学院 2名



福島医科大学看護学部 3名

国際医療福祉大学 4名

今年も実習生がたくさん訪れています。



どうなる障害者自立支援法のゆくえ

衆議院の解散によって障害者自立支援法案が廃案に

今回、通常国会に提出された「障害者自立支援法案」は7月13日衆議院・厚生労働委員会で可決されましたが、8月8日衆議院の解散にともなって廃案となってしまいました。国会のルールとして、衆議院解散となった場合には上程中又は審議中の法案はすべて「廃案」になるのだそうです。



この自立支援法案、実はもっと早くに成立の予定でしたが、全国の障がい者団体の激しい抗議行動や、審議中に問題や不備が指摘され、前例のない修正案と11項目の付帯決議が提案されましたが、郵政民営化法案の陰に隠れて十分審議されず、政治的なアクシデントに巻き込まれついに廃案となってしまいました。

さて、いったい今後はどうなるのでしょうか？

既に、厚生労働省側からは、秋に臨時国会が開かれれば再度提出したいとの意向も示されているようです。

この法案の大きな問題点とされている「応益負担(サービス総量の1割の自己負担)」については、当初同一世帯の所得に応じて上限が設定されていたものが、「本人のみの所得」という方向も考えられているようです。

また、現在の福祉は誰もが平等にサービスが受けられる状況にはありません。近くに利用できる施設がなければ、どんなに素晴らしい制度でも絵に描いた餅でしかないのです。たった1年で破綻してしまうような支援費制度のようなものではなく、誰もが手厚いサービスが受けられるような仕組みを考えつくまで、しっかりと議論してほしいものです。

大石邦子さん講演会 「人は生きるために生まれてきたんだから」

5月14日定期総会終了後、会津本郷町在住で車椅子生活をされながら執筆活動や講演等で全国的にご活躍されている大石邦子さんの講演会を行いました。

「人は生きるために生まれてきたんだから」と題した貴重な実体験に基づく大石さんのお話、参加者全員が強い感銘と感動を受け、テーマである「人は生きるために生まれてきた」ことの意味を深く噛み締めておられました。



講演が終わり、“失礼ですが、皆様方サル山の泣きザルのようですね”と司会者が言っていました。その場にピッタリの表現で、感激・感動の張り詰めた場が一気に笑いの和やかな雰囲気となり閉会しました。

講演会後に行われた交流会では、各テーブルの参加者に気さくに声をかけられておられ、大石さんの他の方を思いやる優しい心や熱い思いが強く感じられ、心豊かになれたひとときでした。



清水義晴氏ワークショップ

2月に白河市文化センターでの公開講演会「弱さを絆に」でお世話になりました、清水義晴氏を再び講師に迎え、6月4日～5日の日程でファシリテーショングラフィックのワークショップをこころんで実施しました。

始めに各グループに分かれインタビューゲームを行い、現在や将来の自分の

夢を語り合いました。グループテーマ別ごとにファシリテーショングラフィック手法を用い、現状分析(阻害要因把握) 将来の夢(未来デザイン)の確認 将来の夢実現に向けて(問題解決策の模索)という流れの中で、グループ複数の方々の意見を練り上げ・まとめ上げていくというこの手法は、職務上のみならず色々な場面や状況で応用・活用ができるもので大変勉強になりました。

(追：夜のノミネーションでの博識あるアイデア豊富な清水先生のお話も大変参考になりました。)

友木厚志コンサート



7月30日(土)午後7時から郡山市出身の友木厚志さんとバイオリン奏者の草野美香さんを招き、こころん音楽の夕べ2005年夏コンサートを開催しました。友木さんは4年前に兄弟デュオ「サンクチュアリ」としてデビューし、昨年からはソロとして各方面で積極的にご活躍されています。参加者は、懐かしいポピュラーソングの歌声に当時は思い出と一緒に口ずさんだり、ソロデビューシングル「南風」の美しい調べに心酔させていました。コンサートの終わりにKさんから花束の贈呈があり、和やかな雰囲気のまま閉会となりました。

お知らせ

(平成17年度福島県地域づくりサポート事業助成)

第2回こころんまつりについて

「第2回こころんまつり」を下記のとおり開催いたします。今回も、多くの地域の方々にご参加・ご協力いただきながら、楽しく賑やかに実施していきたいと思っております。皆様方お友達などお誘いあわせの上、是非ご参加ください。

日時：平成17年9月11日(日) 午前10時から午後3時まで

場所：生活支援センターこころん

内容：バザー、アトラクション、模擬店、健康相談、こころん各作業所パネル展示、自主製品販売等

こころんまつりでのバザー用品を募集しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

受付期間：8月1日～9月5日

受付場所：こころん(泉崎村) ☎0248-54-1115

なごみの家(白河市) ☎0248-24-1386

ウッドピアはなわ(塙町) ☎0247-43-2160

きららハウス(石川町) ☎0247-26-8262

心の病をお持ちの方やそのご家族からのご相談をお受けしております。秘密厳守・無料ですので、お気軽にご相談ください。

(相談時間 AM8:00～PM6:00)

西白河方部家族相談員



白河市 戸口慶三郎 ☎ 24-1386

西郷村 栗原 憲 ☎ 25-1832

矢吹町 濱 けいこ ☎ 44-5936

窓口 なごみの会事務局 ☎ 24-1386